

議会だより

あ い か わ

第 116 号

責任者 議会議長 中山民子
年 4 回発行・本号14ページ



消防出初式（1月5日・下箕輪消防訓練場）

新人議員 3 名が初登壇

一般質問12人が行政運営を問う！

P 5 ～ 10

（仮称）愛川町新郷土資料館建設工事契約を可決

P 3

新たに選挙管理委員会の委員・補充員を決定

P 12

平成20年 2 月15日

＜12月定例会・1月臨時会＞

○発行/愛川町議会 編集/議会だより編集委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

提出議案 13 件可決

平成 19 年第 4 回愛川町議会「12 月定例会」は、12 月 4 日から 12 月 13 日までの会期 10 日間で開会され、(本会議開催日 4 日間) にわたり開かれました。

この定例会では、条例の一部改正や補正予算、工事請負契約の締結など、合計 13 件の町長提出議案を可決しました。

さらに、議員提出議案として、「国・県に私学助成制度の充実を求める意見書」を全会一致で可決し、国・県の関係機関へ提出しました。

本号では、これら「12 月定例会」の内容を中心にお知らせします。



平成 19 年第 4 回定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
	4	火	本 会 議	町長提出議案の説明 委員会付託
	5	水	本 会 議	一般質問 (6 人)
	6	木	本 会 議	一般質問 (6 人)
	7	金	総務建設常任委員会 教育民生常任委員会	付託事件の審査 所管事務の調査
12	12	水	本 会 議	条例・補正予算・事件 議案の総括質疑・討 論・採決 追加議案の説明・質 疑・討論・採決 付託事件の審査結果 及び委員長報告、質 疑・討論・採決 議員提出議案の説明、 質疑、討論、採決
	13	木		予備日

条例関係

◎愛川町町営住宅の管理に
関する条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ平成 19 年 4 月に
東京都町田市の都営住宅に
おいて、暴力団員による立
てこもり発砲事件が発生。

これを受け、国土交通省

から示された「公営住宅に
おける暴力団排除の基本方
針」に基づき、入居制限や
明渡請求など、町営住宅か
ら暴力団員を排除する規定
を設けるため、関係条文に
所要の改正を行うものです。

なお、施行期日は平成 20
年 2 月 1 日。

◎愛川町火災予防条例の一

部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ「建築物の安全
性の確保を図るための建築
基準法等の一部を改正する
法律の施行に伴う関係政令
の整備に関する政令」の条
項に、移動があったことか
ら、関係条文に所要の整理
を行うものです。

なお、施行期日は平成 19
年 12 月 14 日。

◎愛川町職員の給与に関す
る条例の一部改正

(賛成全員)

ポイントⅡ人事院勧告及び
国家公務員の給与改定の内
容に準拠し、民間給与との
格差は正のため、職員の給
与改定を行うものです。

主な改定内容は、主に若

補正予算 5 会 計

◎平成 19 年度一般会計補正
予算 (第 3 号)

(賛成 15 人・反対 2 人)

ポイントⅡ今回の補正は
歳入歳出にそれぞれ 2 億 4
千 537 万 9 千円を追加し
歳入歳出予算の総額を 13
4 億 5 千 529 万 5 千円と
するので、主な補正額の

内容は次頁の表のとおりで
す。

◎平成 19 年度一般会計補正
予算 (第 4 号)

(賛成全員)

ポイントⅡ今回の補正は
歳入歳出にそれぞれ 351
万 1 千円を追加し、歳入歳
出予算の総額を 134 億 5
千 880 万 6 千円とするも
のです。

※主な補正額の内容は
人事院勧告に伴う職員の給
与改定及び人事異動による
ものです。

今回の給与改定は(民間
給与との格差は正のため)
若年層に限定した給料月額
引上げや少子化対策の推進
に配慮した扶養手当の引上
げ及び民間ボーナスの支給

状況を考慮し、12 月期の勤
勉手当の支給割合を 0・05
月分引上げたことによるも
のです。

◎平成 19 年度国民健康保険
特別会計補正予算 (第 2 号)

(賛成全員)

ポイントⅡ今回の補正は
歳入歳出にそれぞれ 3 億 5
千 794 万 1 千円を追加し
歳入歳出予算の総額を 48 億
3 千 164 万 4 千円とする
ものです。

※主な補正額の内容は、
被保険者の増加と療養費及
び高額医療費の増加に伴う
療養給付費を増額するもの
です。

◎平成 19 年度国民健康保険
特別会計補正予算 (第 3

号)
補正額 100 万 6 千円増額

(賛成全員)

◎平成 19 年度介護保険特別
会計補正予算 (第 2 号)

(賛成全員)

◎平成 19 年度下水道事業特
別会計補正予算 (第 2 号)

(賛成全員)

補正額 929 万 5 千円減額

◎平成 19 年度水道事業会計
補正予算 (第 1 号)

(賛成全員)

は、一般会計補正第 4 号と
同様です。

補正額 36 万 円減額

◎（仮称）愛川町新郷土資料館建設工事（建築）
（賛成16人・反対1人）
請負契約金額
2億3千625万円
工事場所
半原地内
請負契約の相手方
大野土建株式会社
工期は平成20年11月28日まで。

事件議案

◎（仮称）愛川町新郷土資料館建設工事（電気設備）
（賛成15人・反対2人）
請負契約金額
5千565万円
工事場所
半原地内
請負契約の相手方
柏木電気株式会社
工期は平成20年11月28日まで。

議員提出議案 意見書

◎国・県に私学助成制度の充実を求める意見書
（賛成全員）
議員提出議案1件が提出され、審議の結果原案のとおり可決し、次のとおり意見書を関係行政庁に送付しました。

国・県に私学助成制度の充実を求める意見書

すべての子供たちの豊かな発達を伸ばすためには、公立・私立を問わず学校施設等の充実はもとより、さまざまな観点から教育環境の整備・拡充を図ることが求められている。

神奈川県においては、児童・生徒一人当たりの私学助成金の額が、全国水準と比較して低い状況である。保護者の経済的理由から、私学への入学を断念、また、途中で退学をせざるを得ない状況も見受けられる。

また、すべての子どもたちにゆきとどいた教育をすすめる、公立・私立を問わず小・中・高校で少人数学級をめざし、また、教育費と教職員を増やし、経済的な理由によって私学への進学を断念する子どもたちが出ないように、私学への助成制度をさらに拡充することが求められている。

したがって、国及び神奈川県においては、憲法、教育基本法、子どもの権利条約の理念にもとづいて、次の事項を実現するよう求めるものである。

- 1 私立高等学校等への助成金の削減方針に反対し、私学助成国庫補助金の増額を図ること。
- 2 少人数学級の実現など、教育諸条件の整備に向けた私学助成の拡充を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成19年12月12日
内閣総理大臣・財務大臣・文部科学大臣・総務大臣 神奈川県知事 殿

神奈川県愛甲郡愛川町議会
議長 中山民子

一般会計補正予算（第3号）の内容

歳入

事業	金額(千円)	内 容
民生費負担金	2,041	児童運営費負担金
民生費国庫負担金	740	児童運営費負担金
土木費国庫補助金	39,050	幣山下平線整備事業費臨時交付金
民生費県負担金	370	児童運営費負担金
民生費県補助金	8,200	重度障害者医療費補助金 ひとり親家庭等医療費補助金
繰越金	194,978	前年度繰越金
合 計	245,379	

歳出

事業	金額(千円)	内 容
財政調整基金費	200,000	財政調整基金積立金
賦課徴収費	3,006	電算業務委託事業費
障害福祉費	16,821	障害福祉管理経費 障害者生活援護事業費 障害者自立支援事業費
児童福祉総務費	3,600	ひとり親家庭等医療費助成事業費
保育所費	5,022	保育所運営児管外委託経費
塵芥処理費	10,300	塵芥処理施設運転経費
道路新設改良費	▲39,050	道路新設改良舗装事業費(幣山下平線)
公園費	3,990	第1号公園プール管理棟塗装工事費
教育振興費(小学校費)	1,718	要保護・準要保護児童就学援助事業費
教育振興費(中学校費)	922	要保護・準要保護児童就学援助事業費
合 計	245,379	

請願・陳情のゆくえ

今回の定例会で結論（12月12日）の出た請願・陳情は次のとおりです。

件 名	結 論	陳 情 書
最低保障年金制度の実現を求める請願	不採択 （賛成6人・反対11人）	愛川町半原287-4 全日本年金者組合愛川年金者の会 会長 黒澤謙太郎
国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の採択を求める陳情	採択 （賛成全員）	横浜市中区桜木町3-9 神奈川私学助成をすすめる会 内藤 正剛
愛川町の私学助成制度拡充を求める陳情	趣旨了承 （賛成14人・反対3人）	横浜市中区桜木町3-9 神奈川私学助成をすすめる会 内藤 正剛
㈱牧野フライス製作所独身寮新築工事の計画変更を求める陳情	趣旨了承 （賛成全員）	愛川町中津3406-3 熊坂区下松台地区第4町内 会長 高瀬 通雄
深刻な医師不足を打開するための法律を制定するよう、国に対しての意見書決議を求める陳情	趣旨了承 （賛成11人・反対6人）	横浜市保土ヶ谷区岩井町218 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 土谷 正明
「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正をおこなうよう、国に対しての意見書決議を求める陳情	趣旨了承 （賛成11人・反対6人）	横浜市保土ヶ谷区岩井町218 神奈川県医療労働組合連合会 執行委員長 土谷 正明
貴町における医療費助成制度維持に関する陳情	趣旨了承 （賛成13人・反対4人）	横浜市神奈川区金港町5-36 神奈川県保険医協会 理事長 平尾 紘一
県の医療費助成制度見直しに関する陳情	趣旨了承 （賛成13人・反対4人）	横浜市神奈川区金港町5-36 神奈川県保険医協会 理事長 平尾 紘一

会派 議決一覧表

各会派賛否 ○…賛成、●…反対、△…退席

議案番号	会派名と所属議員 議 案 の 件 名	あいかわ (6人) 成瀬議員 林 議員 中山議員 鈴木議員 馬場議員 渡辺議員	愛 政 (4人) 小倉議員 熊澤議員 鳥羽議員 熊坂弘久議員	あすか (2人) 山中議員 小島議員	共 産 (2人) 井上議員 小林議員	民主みらい (2人) 熊坂徹議員 近藤議員	公 明 (2人) 森川議員 井出議員	議決結果
町長提出 第 63 号	愛川町町営住宅の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 64 号	愛川町火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 65 号	平成19年度愛川町一般会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第 66 号	平成19年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 67 号	工事請負契約の締結について (平成19年度 (仮称) 愛川町新郷土資料館建設工事 (建築))	○	○	○	○	● (1人)	○	可決
町長提出 第 68 号	工事請負契約の締結について (平成19年度 (仮称) 愛川町新郷土資料館建設工事 (機械設備))	○	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第 69 号	工事請負契約の締結について (平成19年度 (仮称) 愛川町新郷土資料館建設工事 (電気設備))	○	○	○	○	●	○	可決
町長提出 第 70 号	愛川町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 71 号	平成19年度愛川町一般会計補正予算 (第 4 号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 72 号	平成19年度愛川町国民健康保険特別会計補正予算 (第 3 号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 73 号	平成19年度愛川町介護保険特別会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 74 号	平成19年度愛川町下水道事業特別会計補正予算 (第 2 号)	○	○	○	○	○	○	可決
町長提出 第 75 号	平成19年度愛川町水道事業会計補正予算 (第 1 号)	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出 第 9 号	国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出 第 10 号	首長の多選制限の法制化を求める意見書の提出について	●	●	●	●	○	●	否決
請 願 第 2 号	最低保障年金制度の実現を求める請願	●	●	○	○	○	●	不採択
陳 情 第 6 号	国・県に私学助成制度の充実を求める意見書の採択を求める陳情	○	○	○	○	○	○	採択
陳 情 第 7 号	愛川町の私学助成制度拡充を求める陳情	○	○	○	●	● (1人)	○	趣旨了承
陳 情 第 8 号	(株)牧野フライス製作所独身寮新築工事の計画変更を求める陳情	○	○	○	○	○	○	趣旨了承
陳 情 第 9 号	深刻な医師不足を打開するための法律を制定するよう、国に対しての意見書決議を求める陳情	○	○	●	●	●	○	趣旨了承
陳 情 第 10 号	「看護師等の人材確保の促進に関する法律」の改正をおこなうよう、国に対しての意見書決議を求める陳情	○	○	●	●	●	○	趣旨了承
陳 情 第 11 号	貴町における医療費助成制度維持に関する陳情	○	○	○	●	●	○	趣旨了承
陳 情 第 12 号	県の医療費助成制度見直しに関する陳情	○	○	○	●	●	○	趣旨了承

※陳情第 7 号～12号は委員長報告 (趣旨了承) による賛否

一般質問



小学3年生まで 医療費助成拡大を



井上 博明議員

井上議員「小児医療費助成を小学校3年生まで拡大するよう、先般9月議会でも要請しました。積極的な取り組みについて町長の考えを伺います。」

対象年齢引上げ 新年度に向け検討

山田町長「本町では、他市町村に先駆けて、平成14年7月から助成対象年齢を現在の就学前まで引き上げ、助成を実施しています。」

さらなる対象年齢の引き上げに関しては、他市町村の動向や財源の確保などを踏まえて、少子化、子育て支援の観点から、新年度に向け現在検討をしています。

妊婦健診の 町の取組み

井上議員「本年1月厚生労働省は、全国の市町村に対し、健診助成の公費負担を原則5回までにするよう通達を出しました。妊婦健診の助成拡大を求めますが、町の取り組みを伺います。」

国・県の動向を含め 現在検討中

山田町長「厚生労働省では、妊婦健診公費負担について、妊娠・出産に係わる経済的不安を軽減し、少子化解消に資するため、原則5回程度の実施が望ましいとの見解を示しました。」

本事業への国・県の財政支援の動向も含め、現在検討を進めています。
他の質問事項①中学校給食
②機能別消防団



青少年関係団体の 課題について



渡辺 基議員

渡辺議員「慢性的な役員不足の打開策として、学校・PTAのHPの共有や役場HPの青少年関係団体の項目の充実が必要と考えるが、その対応について伺います。」

情報発信は重要 充実に向け努力

熊坂教育長「学校HPの充実を図るために、組織で更新作業を行うよう各学校に指導すると共に、各教員のHP作成のスキルアップを図る研修会の実施、情報アドバイザーの活用等と呼びかけたいと考えます。」

また、役場HP上の青少年関係団体の項目は、今後協議しながら、内容の充実を図ります。

「放課後児童クラス」 運営委員会早期設置を

渡辺議員「保護者の要望・苦情への対応として保護者会や運営委員会等の早期設置について伺います。」

運営委員会のみ 設置の方向で検討

山田町長「運営委員会には保護者の代表者も入っていますので、運営委員会による

会議の開催を考えています。また、設置については、それぞれの児童クラブの運営状況を見ながら順次設置したいと考えています。

他の質問事項①地域コミュニティ②中学校区の撤廃③町内一周駅伝



平成19年10月に開設された中津児童クラブ
＝中津小学校敷地内

首長の多選禁止 町長はどう評価



熊坂 徹議員

熊坂徹議員「知事の任期を3期12年までに制限する多選禁止条例が県議会でも可決成立しました。多選を恒久的に禁止する条例は全国初であり、まさに快挙と言えます。そこで、町長はこれをどのように受けとめているか伺います。

分権社会の先取 法制化が最優先

山田町長「首長の多選の弊害が長年指摘されてきた中で、近年は地方分権が進み知事の権限が一層強化される中、分権型社会の先取りとも考えられることから、県の多選禁止条例には賛成の意を表しました。地方分権の観点からも全国の自治



かえでの家の業務体験をする
新採用職員研修の様子

体が自主的に判断し、条例で定めることができる制度として法制化されることが

最優先であり、私もそれを強く望んでいます。

どうする若手職員の活用

熊坂議員「少子高齢化が進み、ますます複雑多様化する社会情勢の中で、適切な行政サービスを提供するため、将来を担う人材の育成、特に若手職員の能力向上とやる気の高揚は極めて重要な課題です。町の取り組みについて伺います。

自由に意見交換 職場環境づくり

山田町長「これからの世代

を担う職員は、幅広い視野で行政課題に迅速・的確に対応できる能力が求められ特に、若手職員に対してはコミュニケーション能力や自己表現能力を高める研修を重ね、様々な職務を経験させたいと考えています。また、能力を最大限に伸ばすため、自由に意見交換が行える職場環境づくりに積極的に取り組むみたいと考えています。

他の質問事項①介護保険

防犯対策について



熊坂 弘久議員

熊坂弘久議員「本町の防犯活動を展開する中で、各行政区に防犯用品購入の補助を早急に予算化できないか。

また、交番の新設や増設さらには、民間交番の設置について考えを伺います。

防犯用品購入費補助は前向きに検討

山田町長「地域の防犯活動を支援している防犯用品購入は、区長会からも要望があり、新年度に向けて前向きに検討します。

交番の増設は難しいが引き続き、県、県警本部等に対し、警察官増員も含め、機会あるごとに要望します。民間交番については、今後の課題とします。

「県道相模原・大磯線」 歩道整備について

熊坂弘久議員「県道63号線の本町西側の歩道が未整備であり、危険なため、住民の方から整備要望が出されています。

道路管理者である県との協議状況について伺います。

引き続き県に整備を要請していく

本町、西側の歩道整備については、引き続き県に要望していきます。他の質問事項①(仮称)愛川病院

山田町長「同路線について



歩道が未整備の県道相模原大磯線
＝中津熊坂地内

山田町長「平塚市岡崎と横浜市泉区にある2箇所の養豚場を視察し、臭気の状態及び臭気対策の技術を確認した結果、^{※1}嫌気性微生物の発酵により、臭気はありませんでした。事業者に対しては5回事業所に出向き、地域の声を率直に受け止めて対処されるよう要請しました。今後、合意形成がされるよう

事業者に働きかけ 対話のテーブルへ

小林議員「養豚場の悪臭対策について、他市の視察内容と問題解決のために、事業者と話し合いができるよう町がリーダーシップを発揮できるか伺います。

環境改善のために 養豚場の悪臭対策



小林 敬子議員

より一層の話し合いの場づくりに努力していきます。

※1嫌気性微生物「増殖に酸素を必要としない生物

「後期高齢者医療制度」 資格証の発行は慎重に

小林議員「今までの老人保健法では、75歳以上の方には資格証は発行されていないが、後期高齢者医療制度は滞納すれば、保険証を取り上げられ、資格証を発行することです。滞納の事由に十分配慮した慎重な運用が必要とのことですが具体的な内容について伺います。

体である広域連合が細かいマニュアルを作成し、実際は市町村が窓口となって運用にあたります。事情があつて支払いできない方は、十分考慮し判断をします。

また、徴収猶予制度がありますので、様々な制度を運用し配慮したいと考えます。他の質問事項なし

実際の窓口は町 様々な制度で配慮

澤田国保医療課長「実施主



臭気対策が充実している養豚場
＝平塚市岡崎

少子化対策の 母子保健事業充実



鈴木 一之議員

鈴木議員「少子化対策として、新たな出産前後の母子保健事業に対する考え方を伺います。

妊婦健診公費負担 拡充前向きに検討

山田町長「新たな出産前の事業としては、妊婦健診を受診された方の公費負担分を現行2回の拡充に向け、現在、前向きに検討しています。

出産後の事業としては、生後4カ月までのお子さんをお持ちの家庭を町保健師などが全戸訪問します。そこで、様々な不安や悩みを聞くほかに、子育て支援に関する情報提供や、養育環境などの把握及び助言を行

「消防救急無線」 デジタル化の取り組み

鈴木議員「デジタル化に向け、県の計画では平成25年工事完了、平成26年運用開始で、システムの運用については、県内全域一括設計・整備・管理が検討されています。本町の取り組みを伺います。



救急無線のデジタル化が計画されている
消防指令室

県の計画に沿い 整備を検討

山田町長「現在設置している設備、機器をすべて新し

くする必要があります。多額の経費が必要となります。県の整備計画では、平成20年度に電波伝搬調査、21年度に基本設計、22年度に実施設計、23年度から25年度の3カ年で工事を行い、26年度から運用開始とされています。基本的には、県の計画に沿って整備を進めていきます。

他の質問事項①愛川中スプ
リンクラー②医療費助成

川北横根の町道 事業化の取組み



小倉 英嗣議員

小倉議員⇨半原川北の横根に通じる町道202号線は狭いうえに急坂で見通しが悪いことから、拡幅改良を含む交通安全対策が急務となっています。

以前から拡幅改良等の事業化を要望してきましたがその後の取り組み状況を伺います。

18年度は現地測量 詳細設計後に検討

山田町長⇨18年度には現地測量を行いました。

本年度は引き続き、施工方法等を考慮した詳細設計を行っています。今後の事業の進め方については、詳細設計の結果を踏まえて検討します。



町道半原202号線＝半原川北横根地内

道路照明設置の進捗状況

小倉議員⇨国道412号線勝楽寺前から南沢の滝沢橋まで約1・3キロの区間には、道路照明が設置されていないことから、歩行者や厚木方面の高校に自転車通学している生徒の交通安全対策や治安の確保が急務となっています。前回の答弁では、電線が無いことから厚木土木では考えていないとのことでしたが、進捗状況を伺います。

によりますと、電柱が無いことや、地滑り地帯があり設置されていませんが、自転車の通行台数が増えており、夜間の交通安全対策として道路照明が重要と認識しています。

県では、本年度の設置に向けて積極的に取り組んでいるとの事です。

他の質問事項①通学路交通安全対策②町道三増馬渡線西坂法面工事③スズメバチの駆除

交通安全対策重要

本年度設置予定

山田町長⇨厚木土木事務所

年金記録の自宅送付 実施状況と課題



近藤 幸子議員

近藤議員⇨厚木社会保険事務所に足を運ばなくても、役場窓口で手続きをすれば年金記録を自宅に送付してくれるサービスが平成19年7月12日からスタートしました。

実施状況と今後の課題について伺います。

不安解消のため 周知徹底に努力

山田町長⇨このサービスは、申請から2〜3週間間で自宅に年金記録が届くもので、サービス開始以来、11月16日現在で140件の申請がありました。

また、基礎年金番号・生年月日等で本人確認が出来る方は電話でも社会保険事務

「養護学校スクールバス」

障害児の通学支援対策

所が対応します。今後ともど不安の解消を図り、年金制
取扱い事務をはじめ、相談な
度の周知徹底に努めます。

近藤議員⇨県立相模原・座間養護学校では、障害児の登下校の支援として、スクールバスを運行していますが伊勢原養護学校はスクールバスがなく、厚木市・伊勢原市では単独で通学用の中型バスやワゴン車を確保しています。本町の具体策を伺います。

保護者からも障害者移送サービスの相談があり、通学に支障が生じないように、学習の保障・通学の安全・保護者の負担軽減等の面から、スクールバスの設置については、今後も県に要請してまいります。

課題として認識 今後も県に要請

山田町長⇨伊勢原養護学校

他の質問事項①小学生の医療費無料化



年金手帳

山田町長「既存道路の延長は、約1.3kmで、現況幅員は約7m、歩道は未整備となっています。」

具体的な幣山地内の対策については、歩道の整備や曲線部及び急勾配の個所の改修が必要であり、今年度道路概略設計を予定しています。その後、現況測量、詳細設計、用地測量、用地取得、工事等、計画的な整備を考えています。

歩道整備など今後 計画的に推進

小島議員「町道幣山・下平線既存供用部分の角田大橋から、幣山地内までの区間の道路改良計画について伺います。」

幣山・下平線 既存道路の改良計画



小島 総一郎議員

山田町長「本町の企業誘致等に関する条例に基づく優遇措置の適用については、現在まで、11社から相談が

2社と具体的協議 今後は情報の収集

山田町長「本町の企業誘致等に関する条例に基づく優遇措置の適用については、現在まで、11社から相談が

「町・企業誘致条例」 現状と今後の取組み

小島議員「県が制定した神奈川県地域産業活性化基本計画が、国に同意され、国の補助制度の利用や特例措置が受けられます。」

本町の現状と今後の取り組みについて伺います。

今後、県地域産業活性化協議会の企業立地、産業集積に係る方向性が示されることから県や市町と足並みをそろえ、企業誘致関連情報の収集に努めたいと考えます。

他の質問事項①県道65号線



町道幣山・下平線＝角田幣山地内

市町村の動向等
踏まえ研究課題

齋藤教育次長「発達障害児専門施設の必要性の考えはあるが、設置の考えはありません。」

岡本民生部長「5歳児健診は神奈川県内では、川崎市のみであり、他市町村の動向等を踏まえて、研究していきます。また、保護者の方々の要望も聞きながら検討したいと思っています。」

軽度発達障害児の 支援拡大を要望



井出 一己議員

井出議員「発達障害児やその家族に対する個別指導ができる専門施設の開設と子育て支援の一つである発達障害を早期発見することを目指すとした5歳児健診の導入の考えについて伺います。」

「小児医療費」 無料化の対象拡大を

井出議員「公明党県議団の9月定例会の一般質問で、県は小児医療費無料化を就学前まで拡大しました。一部負担はあるが、町への県助成金の支給分を充当して、保護者の要望の最も多かった小児医療費助成の対象を小学校まで拡大する考えについて伺います。」

子育て事業全般を見据えて有効活用

山田町長「小児医療費助成



乳幼児に対する歯科健診事業
＝保健センター

即実行の交通対策 循環バスの改善は



山中 正樹議員

山中議員「循環バスに対する充実・改善を要望する声が町民から寄せられています。総合交通計画でも発展的な改良方針が示されていますが、取り組み状況を伺います。」

平成20年10月再編 路線と乗継目指す

山田町長「本年度はバス交通体系再編調査を行い、平成20年10月運行を目的に交通利便性向上の検討を行っています。考え方は、幹線と生活2つの公共交通軸を確保し、幹線軸は既存バス生活軸は循環バスでの対応を考えています。」

生活交通軸については、バス停まで距離が遠い箇所

急な坂がある箇所等を優先し、路線バスとの接続を考慮し、

慮し、乗り継ぎによるネットワーク体系を目指します。

外国籍住民の動向と支援

山中議員「本町の外国籍住民は県内1位で、一昨年9月で人口比5・98%でしたが、さらに伸びています。」

国際交流への取り組みと生活支援について伺います。

を占めています。多くのボランティアが支援や交流に尽力され、国際交流懇話会の開催などを進めています。こうした取り組みは交流組織設立に意義があり、支援・連携に努めたいと考えます。

諏訪部住民課長「生活支援では相談・通訳・翻訳の3種類を2名で行っていて、

国際交流に向け 支援・連携に努める

山田町長「本町の11月1日現在の外国籍住民は、2,768人、全人口の6・31%」

昨年の相談実績は2,453件です。他の質問事項なし



外国籍住民との交流事業
＝中津公民館

河川の草木対策 新年度予算で



成瀬 和治議員

成瀬議員「河川の草刈りについて、町から県に要望しているが、これを町から各地区へ補助金を出し、各地区ごとに草刈りを実施できないか伺います。」

予算執行に問題 引続き県へ要望

山田町長「本町内を流れる相模川や中津川の河川管理者は神奈川県であり、河川管理者でない町が、直接草刈りの事業や補助を行うことは、適切な予算執行の観点から問題があると考えます。」

町としては、従来から要望している河川敷内の、草刈り等の要望にあわせ、草刈りを実施する団体への助

成について、今後も県に要望したいと考えています。



草刈り等が望まれる中津川河川敷
＝半原隠川地内

「半原県警グラウンド」 跡地利用の状況

成瀬議員「旧県警グラウンド跡地利用については、昨年5月に県知事から、県産木材供給センター構想が発表されました。」

その後、施設の内容について、いまだに説明会が開

催されていませんが現在の状況を伺います。

新たに課題発生 最終調整に努力

山田町長「県と神谷コーポレーショングループの間で

最終的な調整を行っていますが、その過程において、県産木材の確保や製品内容と販売先など、新たに課題が生じ、未だ合意に至っていません。

県では、最終的な調整に向け努力しており結論が得られ次第、本町に状況報告をし、地元説明会を通じ、利用計画の理解をいただきたいとの意向であります。他の質問事項なし

総括質疑

ここが聞きたい! そこが知りたい!

鳥羽 清 議員(愛政クラブ)

Q 町営住宅の管理に関する条例の一部改正では、暴力団員は、新規入居を認めないとのことだが、現在、仮に暴力団員が入居していた場合について。

A 平成20年2月1日から、既存入居者も条例対象となります。

県警と町において、暴力団排除に関する合意書を締結し、これらの情報提供及び協力を求めることができます。県警からの情報提供により、暴力団員であると

判明した場合は、県警と共同して、事情聴取を行い、その際、暴力団からの離脱の説得を行い、従わない場合は明渡し請求を行うこととなります。

Q 塵芥処理施設運転経費増額1,030万円は、燃料の値上がりが必要とのことだが、その内容について。

A 経年による機能低下から助燃バーナーを使用する頻度が多くなり、特に炉の立ち上げ時に使用する燃料が増加したものです。

熊坂 徹 議員(民生みらい)

Q 医療費の動向について。
A 前年同時期、4月から10月までの7カ月間の対比で療養諸費で5・74%の増、高額療養諸費では19・05%の増です。

また、今後流行が予想されるインフルエンザ等の医療費の増加も見込んでいます。

Q 国保加入者の動向について。

A 昨年10月末の全体加入者は、2万161人で、うち一般の方が1万7,838

人、退職者医療制度の方が2,323人います。

これに対し、本年10月末現在で、1万9,723人であり、うち一般の方が1万7,363人、退職者医療制度の方が2,360人の2%の減となっています。

馬場 司 議員(あいかわクラブ)

Q 町営住宅の管理に関する条例の一部改正について、過去、暴力団等とのトラブルについて。

A 本町の町営住宅においては、過去において、暴力団とのトラブルはありません。Q (仮称)愛川町新郷土資料館の浄化槽処理と流末について。

A 浄化槽は、合併処理方式であり、県の施設である工芸工房村と共同処理とすること、ランニングコスト等の低減を図ります。

浄化槽の流末処理については、あいかわ公園駐車場とパークセンターの間に流末の猿沢に流入します。

井上 博明 議員(共産党)

Q 町営住宅の管理に関する条例の一部改正が、成立した後の、現入居者及び入居申請者への周知方法について。

せを各戸に配布する予定です。Q 医療費の増加傾向にある主な内容について

A 入居申請者においては、入居募集の際の広報紙や募集のしおり等により、改正内容を記載し、十分に周知します。

また、現入居者については改正条例が成立した後、改正内容を記載したお知らせ

A 医療費の増加の主なもの、心筋梗塞などの循環器系の疾患、歯科、関節症などの筋骨格系組織の疾患、さらに、うつ病などの精神及び行動の障害など、高齢期に高い疾患などが要因となっています。

山中 正樹 議員(あすか)

Q 障害者生活支援事業費増額は、件数や日数の増との説明だが、町内の障害者を取り巻く事情の変化について。

A 障害者生活支援事業費の増額については、単純に件数、日数の増加に伴うものであり、障害者を取り巻く事情が変化したことによる

影響ではありません。

Q (仮称)愛川町新郷土資料館に隣接する工芸工房村のデザインの面で、有機的連係がどの程度図られているか。

A 両施設とも建設地の豊かな自然環境に配慮し、既設のパークセンターとの整合性を持ち、同一敷地内にあっても違和感がないような配慮をしています。

中学2年生 職場体験

平成20年1月21日から3日間、東中学校の生徒2人が議会事務局で職場体験をしました。

この期間は、会議録のテープの反訳やパソコン入力などの仕事のほか、議会図書室の書籍の整理等をお願いしました。

朝は、議員・職員への元気なあいさつから始まり、とても明るく、一生懸命に取り組んでいました。
3日間、大変お疲れ様でした。

選挙管理委員の選挙

◎選挙管理委員及び同補充員の選挙 (賛成全員)

ポイント 地方自治法の規定により、1月16日の第1回臨時会において、人格が高潔で、政治及び選挙に関し公正な識見を有する次の方々が当選されました。

なお、同月28日の選挙管理委員会において、委員長と同職務代理者が決定されました。

◎は委員長○は職務代理者 (敬称略)

選挙管理委員	中津	○中村文夫
	中津	飯田 博
	半原	◎佐藤一行
	角田	高橋洋介
同補充員	春日台	村中 修
	半原	花上正樹
	田代	佐藤 昭
	角田	榎本重良



前列：選挙管理委員 左から高橋洋介・中村文夫・佐藤一行・飯田博
後列：同 補充員 左から榎本重良・佐藤昭・花上政樹・村中修(敬称略)

2 常任委員会 1 月所管事務調査

行政が行う事務が専門化・複雑化しているため、各常任委員会が所管する事務について専門分野ごとに事業の説明を受け、現地調査を実施し、現状の把握や疑問点の理解を深めました。

総務建設 常任委員会

1月21日(月)午前9時から、角田幣山地区にある民間施設「(株)アクト・エア(総合リサイクルセンター)」及び「町道幣山下平線」並びに、「県立あいかわ公園工芸工房村」(仮称)愛川町新郷土資料館(建築関係)等の現地調査を実施しました。

○(株)アクト・エア(総合リサイクルセンター)について
平成19年9月に操業が開始され、生ごみ、紙、ペットボトル、缶、ビン、発泡スチロール、廃プラ等を扱う、民間施設では国内最大級(処理量183トン/日)となる複合施設です。最新の機器により、限りなく100%に近いマテリアルリサイクルが可能のため、「持続的循環型社会」の形成に向け、画期的な施設になることを期待しています。

※マテリアルリサイクル＝原材料として再利用すること。

○町道幣山下平線について
今回、下箕輪消防訓練場対岸の中津川右岸の第1工区橋りょう工事箇所、幣山から尾山耕地に至る延長580mの区間を調査しました。山側の急峻な地形部分に、橋長245m・車道部7m・歩道部3mの7径間PCポストテンションT桁形式のコンクリート橋を架設桁架設工法で架設するものです。

○県立あいかわ公園工芸工房村「及び」(仮称)愛川町新郷土資料館について



(株)アクト・エア総合リサイクルセンターの調査

現在、建築を進めている「工芸工房村」は県の事業で、厚木土木事務所が担当している。建物は、RC造2階建、建築面積は922.88㎡です。計画では、1階部分に、サンプル展示ショッポのほか、木竹工・陶芸工房及び準備室、事務室、軽食コーナー等の配置が計画され、2階部分は、染色・和紙工房及び準備室、機織工房が計画されています。また、隣接してその南西側に建築が予定されている町有施設「(仮称)愛川町新郷土資料館」は、平成20年11月完成、平成21年4月オープンの予定です。RC造・一部鉄骨平屋建、床面積は約1,200㎡。

空調設備が完備され、日本最古の猿の化石や県最古のゾウの化石なども展示予定で、町の歴史を後世に語り継ぐ、町の新しい情報発信の拠点施設となることを期待しています。

教育民生 常任委員会

1月23日(水)午前9時から
民生部所管の事業の概要説明及び教育委員会所管の放課後児童クラブと第1号公園プール管理棟塗装工事の現地調査を実施しました。
後期高齢者医療制度について

老人医療費が増大する中
現役世代と高齢者世代の負担を明確化し、公平で分かりやすい制度とするために75歳以上の方及び一定の障害がある65歳以上の方を対象に、その心身の特性や生活実態などを踏まえて、今まで加入していた医療保険から独立した「後期高齢者医療制度」が平成20年4月1日から始まります。制度の内容や運営主体並びに運営方法などの説明を受けました。



放課後児童クラブの調査＝中津児童クラブ

- 19年度新たに単独建物で開設した菅原小・中津小の児童クラブの現地調査を実施しました。
- ▽菅原児童クラブ
定員35人(現在19人)
 - ▽中津児童クラブ
定員35人(現在15人)
 - ▽菅原児童クラブ
定員35人(現在23人)
 - ▽田代児童クラブ
定員35人(現在14人)
 - ▽高峰児童クラブ
定員35人(現在12人)
 - ▽中津第2児童クラブ
定員35人(現在22人)
- 現在の各児童クラブの入所状況は次のとおりです。
- ▽半原児童クラブ
定員35人(現在23人)
 - ▽田代児童クラブ
定員35人(現在14人)
 - ▽高峰児童クラブ
定員35人(現在12人)
 - ▽中津第2児童クラブ
定員35人(現在22人)
- 昭和47年に建設以来、既に35年が経過し、管理棟の外壁や屋根、建物内部の鉄骨部分の塗装が、劣化が著しいことから、塗装工事を実施するものです。
工期は平成20年3月11日まで。

議員研修会

＝裁判員制度について＝

講師：横浜地方検察庁公判部長 山田 信二氏



裁判員制度についての説明を受ける町議会議員

平成20年1月28日(月)午後1時半から、来年5月までの間に始まる「裁判員制度」について、研修会を行いました。

この制度は、国民が裁判員として選ばれ、刑事裁判に参加するもので、既に、アメリカやイギリス、フランス、ドイツ、イタリアなどの世界の国々で広く行われています。

この導入については、私たち国民が裁判に参加することによって、法律の専門家でない人たちの感覚が、

裁判の内容に反映され、その結果、裁判を身近に感じ、司法に対する理解や信頼が深まることや、自分たちを取り巻く社会を考えることによって、より良い社会への第一歩となること等が期待されています。

裁判員は、選挙人名簿をもとに裁判員候補者名簿の中から選ばれ、1年間で約285人から570人に1人が候補者となります。裁判員の日当や交通費は上限1万円と定められています。

町民の声

朝の散歩



吉田 法人 さん

(中津在住)

私が会社を退職して、早いものでもう二年になり、辞めた時刻の「けじめ」として、6時30分から朝の散歩をしています。

最初は、12月でもあり寒さがこたえましたが、数日もすると体も慣れ、それに毎日散歩していると、同じ時間帯に散歩している人達と顔なじみになり、そのうち数人で散歩するようになりました。寒い時、暑い時と季節を肌で感じ、日本の四季の移り変わりは、本当にいいものだと感じました。また、退職する前からゴルフを楽しんでいましたが、仕事の都合で平日休んでプレーするには気が引けましたが、今は心配も無く楽しむことができるようになりました。また、ゴルフは足腰が重要であり毎日歩くことにより、スコアアップにつながり、一石二鳥で、毎日楽しくおしゃべりしながら歩いています。

歩くコースは、下谷(中津)の中津川土手を二井坂方面に歩いていますが、先日、八音橋上流500m付近で、かわせみを見つけ、しかも魚をくわえており、

珍しい光景を目の当たりにしました。

これからも、おもしろい事に遭遇すると思いますが毎日元気に歩こうと思っています。



傍聴のお知らせ

3月定例会は下表のとおりです。本会議はいずれも午前9時から開会されます。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、2月22日(金)に開催予定です。

平成20年第1回定例会日程(予定)

月	日	曜	会 議 名
3	3	月	本会議 (提出議案の説明)
	4	火	本会議 (一般質問)
	5	水	本会議 (一般質問)
	12	水	本会議 (総括質疑)
	13	木	総務建設・教育民生常任委員会
	14	金	総務建設・教育民生常任委員会
	17	月	総務建設・教育民生常任委員会
	18	火	総務建設常任委員会
	24	月	
	25	火	本会議 (委員長報告・討論・採決)
	26	水	
	27	木	
	28	金	(予備日)

陳情・請願の締切日は2月15日(金)になります。日程が変更になる場合がありますので、詳しくは議事録をご覧ください。町ホームページでもご覧いただけます。

ご覧ください 会議録

議会だよりは、紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは、下記の町公共施設に備え付けてある「会議録」をご覧ください。なお、12月定例会の会議録は、3月中には備え付けができる予定です。

会議録設置施設

- 半原出張所
- 中津出張所
- 役場本庁窓口
- 福祉センター
- 文化会館図書館
- 農村環境改善センター
- 半原公民館
- 中津公民館

編集後記

新しい年を迎え、様々なスタートが切られ、町一周駅伝競走大会では、若い人達が素晴らしい活躍をし、成人式では、566人の若者が大人の仲間入りを果たしました。

さて、平成20年最初の議会だよりですが、新体制になって初めての定例議会を報告する議会だよりです。

新たな委員が町議会と町政を、住民の皆様と正しく、わかりやすく伝えていけるよう努力をしておりますので、ご意見・ご要望などをお待ちしております。

議会だより編集委員会
委員長 馬場 司
副委員長 近藤 幸子
委員 渡辺 基
委員 熊坂 弘久
委員 井出 一己
委員 成瀬 和治
委員 小島 総一郎
委員 鳥羽 清
委員 小林 敬子